

## 吉田宗恂とその周辺—コンピュータと図書館を活用して

### (7) よくわからない漢字・かな・漢文

島野達雄

#### 1. 伊佐家資料にある村井中漸の号(？)



6 月の和算ゼミのあと小寺裕氏より、伊佐家文書の最後のほうを「読んでほしい」という依頼があった。ちょうど宗恂の『医方大成論抄』の入力をおえて一息ついた（と言っても読めない字がたくさん残っている）ところだったので、読み始めた。すぐに、村井中漸の号と思われる「戴○」は戴岑ではなく、戴岑であることに気づいた。岑はユニコード 21F18、音はコツ、「奏」の古字。大漢和辞典の 4 巻 306 頁の 8483 番（4-8483 と略す）。

小寺氏に依頼された文書の「漢字」は、短期間で全部入力できたが、漢文の意味がわからないところがある。以下、ユニコードと大漢和辞典、文字鏡について一般的な説明をおこなったのち、伊佐家文書の解読に和算ゼミの衆知を集めて挑戦したい。

#### 2. ユニコード

ユニコード (UCS と略す) は、1980 年代に米・ゼロックスが呼びかけ、マイクロソフト、アップル、IBM などの企業が参加してつくった文字コード。当初は 16 進数 4 桁つまり  $16^4 = 65536$  字で世界中の文字がカバーできるとふんでいた。この領域を**基本言語面**とよび、世界の言語のほか六十四卦、かな、悪名たかき CJK 統合漢字および CJK 統合漢字拡張 A がふくまれている。CJK 統合漢字は、かな漢字変換・手書き入力・部首・画数で、検索・入力ができる。もちろん、すべての「文字」が 65536 字におさまるわけがなく、現在 16 進数 5 桁に増えている。1 から始まる**追加多言語面**には、麻雀牌、トランプ、顔文字、算木用数字 (1D360 ~ 1D371。表示法は不明) もある。2 から始まる 16 進数 5 桁の**追加漢字面**には、CJK 統合漢字拡張 B, C, D がある。拡張 B 漢字は康熙字典の部首配列 (康熙字典配列) で並んでいる。

現在のところ、ユニコードを半角で入力し、alt キーを押しながら x を入力すればパソコンに入力できる (ことが多い)。逆に漢字の右側にカーソルをおき、alt キーを押しながら x を入力すればユニコードに変換できる。

なお、ユニコードより先、1978 年に日本では漢字の JIS 規格が制定された。ワープロ全盛時代には JIS 第一水準 (約 3 千字)、JIS 第二水準 (約 3 千字) などの呼び方が巷にあふれた。現在は JIS 第四水準まで、合計約 1 万 1 千字がコード化されている。

#### 3. 大漢和辞典と古今文字鏡 (ここん・もじきょう)

大漢和辞典 (修訂第 2 版は 51283 字) は、部首、画数、音訓の読みで検索できる (第 13

巻が索引、第14巻が語彙索引)。

うえの戴攀の攀21F18について、大漢和は「【攀】8483 コツ攀(4-7865)に同じ。〔字彙〕攀、見周宣王石鼓文。〔康熙字典〕攀、按、石鼓文、本作レ■、音忽、疾也。與説文音訓同。」と返り点、句読点がついており、読みやすい。■(9-31293)は攀21D28に似ているが、「山山山に本」という漢字。

文字鏡の攀21F18は「〔字彙〕見石鼓文○按石鼓文本作@031293;音忽疾也與説文音訓同或譌作@200804;字彙作@008483;引薛註作華鄭註作拜並非」と若干異なり、また読みにくい。

## 攀21F18 攀21D28 攀21D1D

攀21F18, 攀21D28, それに■(9-31293)のほかに、もうひとつ、中根元圭の『異体字弁』には、奏の古字として攀21D1Dがある(帰正門十二画起直)。音はソウ、大漢和4-7856, 文字鏡には「〔集韻〕則候切奏本字正譌从本从T艸从巾音徹上進之義本亦訓進会意」とある。

なお、拡張B漢字のユニコードを調べるには、現在のところ古今文字鏡を使うほかないと思う。

### 4.意味不明のかな

吉田宗恂の本草序例抄巻6・pdf15に、「然に寇宗奭が是の事をなかなかと引て寺中の泉水を以て薬の玉泉をたゞさうとするはいりほかなり。見者よく心を付へし。」とあるが、「イリホカナリ」の意味がわからない。「なかなか(ながなが)」の繰り返し記号「く3031」「ぐ3032」は横書きでは使えない。(縦書きでは、200%に拡大する)

京大近衛文庫の医方大成論抄は漢字カタカナ混じりの古活字本で、カタカナ合字の「メ4E44」や「ㄗ30FF」「ㄗ200CD」がしばしばあらわれる。メは拡張B漢字2CF00にもあるが表示できない。その他の合字には「ㄗ309F」がある。

#### 【伊佐家文書・村井中漸の識語】

數何肇其肇自圖書乎、數之時義大矣哉、吾門有伊政徽者、估僱(せんひつ)之暇旁及隸首揣摩、鑽礪四三年、于茲始造其精微、向者某題難問三條懸之

←牛頭廟不解十九年矣、政徽一旦迎刃(げいじん)而破之、且踵附(しゅうふ)三條問以望大方彈射不敢術鼠技蓋請益也、乃系以唐律乙篇云  
遺廟千年

←牛府君、今時游侠謾紛ニ東山邀妓、金為塊南縣栽花錦作雲日桂彫梁射丹騰(たんわく)風飄綺帳借氛氳(ふんうん)幾人祈賽題名處

←聖代餘恩競蓺文 時

←明和丁亥十一月朔旦冬至 平安 書生 邨井 漸 載攀

(注: ←は一字台頭していることを示す)